

# セロハン粘着テープ

テープとテープはくつきません

ねんちやく

セロハン粘着テープ（一般に「セロハンテープ」とも呼ばれています）は、身近にある文房具で代表的なものの一つです。セロハンは、ビニルのように見えますが、木材パルプを原料にしたフィルムで、セロハン粘着テープは、このセロハンに天然ゴム系の粘着剤を塗ってテープ状にしたものです。

しかし、セロハンにそのまま粘着剤を塗って、テープ状にしてクルクルと巻いただけでは、使うときにうまくはがれないばかりか、粘着剤が下のセロハンに貼りついてしまうため、上の部分はセロハンだけになってしまいます。ところが、私たちが使っているセロハン粘着テープは、使用するためにはがしたセロハンだけに粘着剤がつき、下のセロハンに粘着剤が残ることはありません。なぜなのでしょう？

実はセロハン粘着テープは、セロハンと粘着剤だけでできているのではなく、4層になっていて、上から見ていくと…

## 第1層：剥離剤

上に巻かれたセロハンに塗られている粘着剤が、きれいにはがれるようにします。

## 第2層：セロハン

## 第3層：下塗剤

セロハンと粘着剤とが、はがれないようにします。

## 第4層：粘着剤

という構造をしています。セロハンの一方の面に剥離剤を、もう一方の面に下塗剤を塗ることによって、セロハンのそれぞれの面に別々の性質を持たせて使いやすくしているのです。

さて、セロハンや天然ゴムは空気中の水分や光によって劣化しやすいため、セロハン粘着テープを長時間使用すると、はがれてしまったり、硬くなってポロポロになったり、はがしたあとに粘着剤が硬くこびりついたりすることがあります。そこで最近では、セロハンの代わりに、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステルなどの、さまざまなプラスチックを使用した粘着テープも販売されています。これらの粘着テープの多くは、粘着剤にも、劣化しにくい合成ゴム系、アクリル系、シリコン系などのものが使われています。しかし、セロハン粘着テープの方も、夏の暑さでも粘着剤がベタベタしない、テープを切るときに斜めになることなくきれいに切れる…など、より使いやすくするために多くの改良が行われ、今も進化し続けています。

（平成20年12月）

❖セロハン粘着テープの4層構造（イメージ図）

